

momentum

いたずらに過ぎる日々
何よりもたたく

先の見えない道を
あてなく彷徨うだけ

とおい
ただ

見えているもの いつだってすぐに
つかめると期待して
空を見つめていた

涙で前が見えなくても
居場所があるなら

まだ 立っていけるから
僕 たちの思いも
永遠に この先
この胸に刻んで

さあ 声をあげて
今ここにいる 瞬間
明日の僕らへつなごう

さあ 声をあげて
超えていけるよ 自分さえも
あの空も

探し続ける僕は
もう迷わないから

きつと
きみが

僕がまだ歩いて行けると
気づかせてくれた事
今でも覚えている

歩けなくてもしゃがみこんでも
未来に怯えたまま

あきらめはしない
下はもう向かない
はかりしれない 不安
風にのせてくよ

さあ 顔をあげて
今ここにある 道
夢の続きにつなごう

さあ 顔をあげて
目に焼き付けて この一瞬も

僕らは立ち止まらないよ もう

ただ

通り過ぎる時間の中で
僕らが出会ったこと
誇りだと感じて

涙で前が見えなくても
居場所があるなら まだ

立っていけるから
僕たちの思いも
永遠に この先
この胸に刻んで

さあ声をあげて
今ここにいる 瞬間
明日の僕らへつなごう

さあ風をきって
超えてみせるよ 自分さえも

まだ知らない 未来へ
風をきって

さかあがり

幼いころはいつも 大人のふりして
我慢するのが 当たり前になっていたんだ
欲しいものねだりなんて できないと思ってた
あの時からずっと 歩き出せない
蹴り上げた空に 何が見えるの？
私と僕が俺と君で
知ってたんだ 「風が痛い」

振りしめた答えは あやふやだから
無意識のまま 天秤にかけてたりもして

浮き沈みだけを見て 悲しんで喜んで
そんな生活にきつと 疲れちゃったんだ
晴れの日の夜に 飛んでいきたいかって
私と僕と君とを
失くしたんだ 「それでもいい」

吹き抜ける風に どきどきしたり
追い越されそうで 立ち止まっても
また明日も また誰かと

蹴り上げた空に 何が見えるの？
私と僕が俺と君で
思い出した 「風が痛い」

見知らぬ景色は もう慣れたよ
小さな からだ ひとつ 持ち上げられなかった
たぶん、今も

幼いころはいつも
ひざ抱え見てた
あの公園の 鉄棒はまだ
あるのかな

メリーさんの羊は切ない夢をみるの

僕はいつも一人
切ない夢を見るの
メリーさんの羊
メェメェと鳴きやまないの

頭の中 君はほくを
置いていくのさ

I'll go looking for You I awake.
(目が覚めたら君を探しに行くよ)

僕はいつも一人
一人の朝を迎えるの

I'll go looking for You I awake.
(目が覚めたら君を探しに行くよ)
I can go anywhere to meet you.
(君に会うためならどこへだって行けるんだ)

Do you remember me if I was one of 100?
When I wake up, just say "Morning," beside me.
Not for everyday.
(僕が100匹のうちの1匹でも、君は覚えてくれるかな？
目が覚めたら君がいて「おはよう」って
言ってくれるだけでいいんだ、毎日じゃなくてもいいから。)

Ton d'eau

ささやく声に うたう水の音色
夢にひたり 踊るひとときが 恋しい

繋ぎとめる言葉 むなく 泡になつた

唇よせて たゆたう波紋を
月夜に隠し 焦がれる想いと「ゆめ」

淡い嘘で かき混ぜて 深く沈めた

優しく見つめて 撫でるあなたは 知らない
水面にうかべた わたしの微笑み
さまよう

重ね合わせた 波間にゆれる影
溶けて消える 熱を辿っても 同じ

こぼれた涙 すくって 空に浴びせた

たたくも夜空に きらめく星は 冷たい
悲しみのワルツ 響かせないで
今だけは

優しく見つめて 撫でるあなたは 知らない
水面にうかべた わたしの気持ち ずっと

だから
触れる指先 込めた願いは 儂い
悲しみのワルツ 響かせないで 今だけは

ひかりのうた

アメイジンググレイス
煌めく歌 聞こえる 遠く
目を閉じれば
全てを 包み込むの
(目覚めよ)

ねえ 聞こえる？ この声
光放つ 空

風 感じて
その 目で
どうか 気付いて...

アメイジンググレイス...

What a wonderful world! 素晴らしい夜 なんてこんなに甘いだろう
明日が見えないと泣いてたけど 総てを隠す笑った顔
誰も一人じゃ生きていけない そっさ大切なものを忘れてない？
流れる涙+心の痛み=hail mary=消えるmisery

歩いて行けば見えてくるから 心配すんな still alive
てんで晴れない日ですらもこんなに愛おしいのさ いいんじゃない？
見えてなかったものが見えて 嫌なことたくさん増えて
それでもここにあるもの 掴んでくよ what's going on?

ゆめのなか

夜 暗闇の中
光の風が走る
闇 深い森には
見たことのない 不思議な光
まわる まわる 空に溶けてくの

目を 閉じれば見える
暗がりの中 光る
空 星が輝く
暗闇の中 一人きりになり
月の見えない 夜の闇

包まれる
夢の中
夜の海

時の流れる音 聞こえるわ
遠く 落ちる砂の音は
きらきら流れる
星の光 瞬く夜
闇を照らすの

夜 開く扉は
音もなく静かに
夢 招き入れるの
きらめきの夜 星屑をそばに
だけどわたし 一人きり

寂しくて
泣きたくて
夢の中

遠く 長い夢を歩いてく
誰も見えない道 一人で
どこまで行けば
どこまで行けば辿り着く？
夢を彷徨う
夢が 終わるまで

青く 明けて行く空の果て
夜の終わりにいる 寂しく
ここからはきつと
きつともう 大丈夫だから

夢が終わるの
そつと...

Ending

夜更けに
目を閉じ

嘘の裏
ノイズ 耳鳴り
「ひーん」って

もう誰も 此処には
いない

(Vocal)
茶太(M2)
南条あきら(M3, 4, 5, 10)
緑坂重緑(M1, 6, 8, 9)

(Rap)
Peko (M6)

(A.Sax)
Ochi Yuu (M4, 5)

(Lyrics)
樹藤らん(M6, 8)
しづ(M2, 5, 10)
南条あきら(M3)
海月(M4, 9)

all composed and arranged by takezou
produced by "Studio-Kurage"
http://studio-kurage.jugem.jp/?eid=3